

平成 29 年度 横浜市学力・学習状況調査の結果

2月に行った横浜市学力・学習状況調査の結果をお知らせします。学年、教科によって差はありますが、本校は、横浜市の平均とほぼ同じ結果になりました。この結果を、今年度の結果に生かし、子どもたちの学力向上につなげていきたいと思ひます。

生活・学習意識調査から

- 学年によって差はありますが、全体では生活意識・学習意識とも市の平均とほぼ同じである。
- 「人の気持ちを考えて行動しています。」と答えた児童の割合が市の平均より多い。
- 「学校図書館に行くことが好きです。」と答えた児童は市の平均より多く、一日の読書時間も市の平均より多い。
- 「外国人の先生や友だちと英語でコミュニケーションをとることは楽しい。」と答えた児童の割合も多い。
- 「あいさつをすすんでしています。」と答えた児童の割合は市の平均より少ない。

各学年の教科学習調査

◇よい状況と考えられる内容

◆改善が必要と考えられる内容

1 第2学年

国語 ◇ 配当漢字を文の中で正しく読むことができる。 ◇ 話し手が知らせたいと思っていることについて聞き取り質問することができる。 ◆ 主語と述語との関係に注意することができる。	算数 ◇ 立体の形状に着目して、身の回りにあるものの形の特徴を説明することができる。 ◇ 十進位取り記数法の原理を理解し、2位数の表し方を考えることができる。 ◆ 3口の数の加減混合計算の場面における式の表し方が分かる。
---	--

2 第3学年

国語 ◇ 時間的な順序や事柄の順序などに気をつけて文章をよむことができる。 ◇ かぎ「」の使い方を理解して文章の中で使うことができる。 ◆ 話し手が話す事柄の順序を意識しながら聞くことができる。	算数 ◇ 1つつ×いくつ分で表された乗法の式に合う具体的な場面が分かる。 ◇ 正方形を対角線で切ってできた三角形の性質が成り立つ理由を正方形の定義から考えることができる。 ◆ 身の回りにあるもののかさに応じた単位がわかる。
---	---

3 第4学年

国語 ◇ 指示語が指す語句がわかる。 ◇ 目的や必要に応じて文章などを利用したり要約したりすることができる。 ◆ 配当漢字を文章の中で正しく読むことができる。	算数 ◇ コンパスを用いて、円の作図ができる。 ◇ 数量の関係を□を用いた式に表すことができる。 ◆ 少数や分数の計算を単位のいくつ分で考えると整数に直して計算できることを理解している。
社会 ◇ 地図や土地の高低や土地利用の様子を読み取ることができる。 ◇ 商品の品質管理に関する仕事から、消費者が安心して買えるようにしているスーパーマーケットの取り組みについて考えることができる。 ◆ まちの調べ方の学習の仕方を理解している。	理科 ◇ 磁石に付いた釘が繋がっているという事象から次の時間の問題を見だし解決の見通しをもつことができる。 ◇ 昆虫の体のつくりを理解している。 ◆ 友達の結果と合わせて、どんなことが言えるかを考察し、言葉で表すことができる。

4 第5学年

国語 ◇ 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて文章を読むことができる。 ◇ 参加者として進行に沿って話し合いを進めることができる。 ◆ 配当漢字を文の中で正しく書くことができる。	算数 ◇ 分度器を用いて角の大きさを判定することができる。 ◇ 単位正方形の個数を数えることで、面積を数値化して比べられることが分かる。 ◆ (3位数)+(2位数)の余りのある除法の計算ができる。
社会 ◇ 資料から以前は沼であったところの水を抜き、田や川、用水路を作ったことを読み取ることができる。 ◇ 資源物とごみの出し方を理解している。 ◆ 日本地図の中で県の位置を理解している。	理科 ◇ 光電池がよく発電する状況を太陽との位置関係と関係付けて考えることができる。 ◇ 一日の気温の変化する様子を適切に記録することができる。 ◆ 閉じ込めた空気の体積や押し返す力の変化を空気の性質と関係付け日常生活に当てはめることができる。

5 第6学年

国語 ◇ 推薦のスピーチを聞いて、事物のよさを捉えることができる。 ◇ 話し手の推薦した理由について聞き、取り上げられた事物のよさについて自分の考えをまとめることができる。 ◆ 目的や意図に応じて、資料を基に自分の考えを書くことができる。	算数 ◇ 合同な三角形を組み合わせてできた模様から図形を見だし、その図形を「回す」「裏返す」の操作から考察することができる。 ◇ 乗数が1より大きい場合に積は、被乗数より大きくなり除数が1より小さい場合に商は、被乗数より大きくなる事が分かる。 ◆ 単位量当たりの大きさを求める式の意味が分かる。
社会 ◇ Aさんが環境に優しい方法で稲を栽培していることについて考えることができる。 ◇ 機械が作業する部分を取り入れたB社のねらいについて考えることができる。 ◆ 世界の主な国の名称や位置を理解している。	理科 ◇ 発芽の条件の要因を見いだすことができる。 ◇ 川の上流や下流等によって河原の石の大きさや形、流れる様子などに違いがあることを理解している。 ◆ 水の温まり方を金属・空気を温めた既習の学習を生かし、予想表現することができる。